

対象機器：ルームエアコンディショナ、パッケージエアコンディショナなど



◆ エアコンの一例
(ダイキン殿Webより)

■背景及び課題

・IEC60335-2-40では地球温暖化防止のため、温暖化係数(GWP)の低いA2L(微燃性)の新冷媒などの安全性規定を第6版に追加し2018年1月に発行した。又、さらなる低GWP化を図るため、A2(弱燃性)、A3(可燃性)冷媒に関する緩和見直しの検討が行われており、その中でWG21で安全対策に対し冷媒検知センサーや安全遮断弁への要求事項追加が審議されている。

■活動方針

1. 冷媒(A2L微燃性冷媒)の規定追加を提案。
2. 冷媒(A2弱燃性、A3可燃性冷媒)の緩和提案
WG21に参加し、日本意見反映を実施(安全性の確保)

■成果

1. 日本提案のA2L冷媒の安全に対して、WG9に積極的に参加し、2018年1月に第6.0版としてIEC60335-2-40の規格が改正された。
2. 冷媒(A2弱燃性、A3可燃性冷媒)の規定緩和提案について、WG21(WG9&WG16の統合)にもエキスパート登録の上、積極的に意見提案を行っている。

■今後の予定

A2冷媒の課題積み残し及びA3冷媒の規定緩和提案について、WG21にてA2L冷媒の課題を含め検討を行う